



2006年6月8日

報道関係各位

ワールドカップ開幕：サムライブルーは勝てない？

日本人は自国チームの優勝に悲観的

世界 50 カ国に拠点を持つ市場調査会社であるシノベイト(日本オフィス：東京都港区、代表取締役：藤木里佳)は、サッカーワールドカップ 2006 ドイツ大会出場の世界 13 カ国、7,835 人を対象にワールドカップについての意識調査を実施しました。調査対象国は日本、ドイツ、フランス、イギリス、ブラジル、アルゼンチン、スウェーデン、チェコ共和国、ポーランド、セルビア、ウクライナ、韓国、オーストラリアです。

この調査の結果、2006 年ワールドカップではブラジルが優勝候補として全対象者の圧倒的な支持を得ている一方、日本人は自国チームの優勝に悲観的であるという、興味深い事実が明らかになりました。また、ブラジルのスター選手、ロナウジーニョがトーナメントの MVP に最も近い選手として挙げられていることも報告されています。

優勝チームの予想の調査では、全対象者の 42%がブラジルと回答しており、10%が開催国のドイツ、続いてアルゼンチン、イギリス、フランス、スウェーデンと、1位のブラジルが2位以下を大きく離しています。党派心が強い国々はブラジル、アルゼンチン、フランス、イギリスで、これらの国々の対象者は自国チームが優勝すると考えています。一方、日本では、自国チームが優勝すると答えた人の 9 倍もの人がブラジルが優勝すると予想しており、調査対象国の中でも日本人は自国チームの優勝に大変悲観的であるという興味深い結果が出ています。

シノベイト株式会社の藤木里佳社長はこの調査結果には驚かず、「日本人はとても現実的です。勝ち進んでほしい気持ちはありますが、日本代表チームの一回戦突破は容易なことではないと分かっています。もし、質問が『どのチームが優勝すると思いますか？』ではなく『どのチームに優勝してほしいですか？』だったら、結果は大きく異なっていたに違いありません」とコメントしています。

サッカーワールドカップ2006 ドイツ大会では、どのチームが優勝すると思いますか？														
国	合計	ドイツ	フランス	イギリス	オーストラリア	ブラジル	チェコ	スウェーデン	セルビア	アルゼンチン	日本	ポーランド	韓国	ウクライナ
ブラジル	42%	42%	30%	25%	31%	78%	34%	35%	39%	22%	47%	26%	33%	20%
ドイツ	10%	25%	10%	9%	9%	5%	14%	10%	8%	8%	13%	13%	9%	10%
アルゼンチン	6%	5%	2%	2%	4%	2%	2%	2%	4%	57%	5%	1%	0%	4%
イギリス	4%	2%	2%	29%	6%	1%	3%	4%	3%	1%	3%	2%	1%	7%
フランス	4%	2%	31%	3%	1%	0%	3%	2%	2%	0%	1%	2%	3%	5%
スウェーデン	3%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	24%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
イタリア	2%	5%	3%	2%	3%	1%	3%	2%	3%	1%	3%	2%	0%	8%
韓国	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	0%
オーストラリア	1%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
チェコ	1%	0%	0%	0%	0%	0%	23%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
スペイン	1%	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	0%	0%	2%	1%	0%	1%
オランダ	1%	1%	1%	0%	2%	0%	2%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%
ポーランド	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	0%	0%
ウクライナ	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12%
日本	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%
ポルトガル	0%	0%	1%	0%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
セルビア	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
その他	1%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	1%	0%	1%
不明/回答なし	21%	14%	17%	27%	23%	12%	13%	17%	38%	10%	18%	37%	37%	30%

全対象者の半数、そして日本では70%もの対象者が、ロナウジーニョが大会最優秀選手に贈られるゴールデン・ボール賞に輝くと予想しています。フランスのジネディーヌ・ジダンやティエリー・アンリなど他の選手はそれぞれ4%の支持率で、ロナウジーニョへの支持は圧倒的です。また、ジダンは自国のファンの20%に支持されています。

今回のワールドカップでMVPを受賞するのは誰だと思いますか？(上位10人)														
	合計	ドイツ	フランス	イギリス	オーストラリア	ブラジル	チェコ	スウェーデン	セルビア	アルゼンチン	日本	ポーランド	韓国	ウクライナ
ロナウジーニョ(ブラジル)	49%	46%	46%	33%	29%	73%	46%	32%	76%	38%	70%	43%	43%	28%
ジダン(フランス)	4%	7%	20%	4%	5%	1%	1%	2%	3%	0%	2%	3%	6%	7%
アンリ(フランス)	4%	3%	11%	12%	9%	1%	4%	1%	4%	1%	1%	0%	7%	3%
メッシ(アルゼンチン)	3%	1%	2%	0%	2%	1%	0%	0%	1%	35%	3%	0%	0%	1%
ルーニー(イギリス)	3%	1%	1%	22%	7%	0%	1%	1%	1%	0%	2%	0%	5%	2%
バラック(ドイツ)	2%	15%	2%	2%	2%	1%	0%	0%	1%	0%	7%	1%	2%	1%
イブラヒモビッチ(スウェーデン)	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	16%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
シェフチェンコ(ウクライナ)	2%	1%	4%	1%	0%	0%	1%	0%	2%	0%	2%	0%	1%	39%
ロナウド(ブラジル)	2%	0%	0%	0%	0%	7%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
カカ(ブラジル)	2%	2%	2%	2%	4%	3%	0%	0%	1%	0%	5%	0%	0%	2%

各国のファンに自国代表チームを最適に表現している言葉を選んでもらったところ、日本人はブラジル、韓国、アルゼンチンの対象者と同様、「ワクワクする」を選んだ人が最多数でした。

藤木社長は、「前回ワールドカップで日本が共同開催国であったこともあり、今大会でも日本では盛り上がりを見せています。2002年のトーナメントでは日本中が大きな興奮に包まれたので、その名残りと、日本代表チームのプライドおよびプレースタイルによって、『ワクワクする、ドキドキする』がチームを表現する最適の言葉に選ばれたのだでしょう」とコメントしています。

一方、ポーランド人の65%とドイツ人の41%、そしてフランス人の40%は自国チームを「有言不実行」と表現しています。さらにネガティブな表現をしている国もあります。チェコ人の15%、韓国人の11%、そしてブラジル人も9%ではありますが、自国チームを「暴力的」としています。

あなたの国のチームのイメージにいちばん近いものほどれですか？														
	合計	ドイツ	フランス	イギリス	オーストラリア	ブラジル	チェコ	スウェーデン	セルビア	アルゼンチン	日本	ポーランド	韓国	ウクライナ
ワクワク、ドキドキする	33%	5%	20%	24%	21%	45%	10%	25%	15%	35%	68%	6%	49%	18%
有言不実行	19%	41%	40%	37%	11%	12%	18%	13%	29%	22%	1%	65%	6%	29%
冷静で効率的なプレイをする	16%	18%	11%	12%	7%	17%	26%	36%	20%	11%	14%	1%	7%	17%
ダークホース	12%	18%	18%	12%	58%	1%	16%	10%	15%	8%	2%	17%	12%	10%
エレガント、ハイクラス	6%	7%	4%	3%	1%	12%	5%	2%	2%	5%	10%	4%	2%	10%
暴力的	5%	0%	1%	2%	0%	9%	15%	2%	1%	4%	4%	2%	11%	2%
負けると言い訳ばかりしている	4%	11%	7%	9%	2%	1%	5%	2%	11%	9%	0%	5%	4%	5%
不明／回答なし	5%	0%	0%	0%	0%	3%	6%	11%	6%	7%	0%	0%	10%	10%

日本人対象者の大半（65%）が通常はサッカーの試合を見ていないが、ワールドカップの時だけは例外だと答えています。また、日本人対象者の25%がワールドカップを見るために日々の予定を調整すると回答しています。

世界的にも、ワールドカップを理由に家事から逃げようとする人はいるようです。怠け者のトップを争っている国民はセルビア人（43%）、イギリス人（41%）、ブラジル人（40%）、チェコ人（39%）、そしてアルゼンチン人（37%）という結果が出ています。日本人とスウェーデン人は最も勤勉で、ワールドカップを家事や日常の現実からの逃避の理由にしようとする人は、それぞれ10%と12%のみと報告されています。

最後に、サッカーファンの中には、仕事に行くか、行かないでテレビで試合観戦をするかのジレンマに陥る人もいるようです。日本人の10%は、ワールドカップが仕事上、それほどの難題にはならないと答えています。この10人に1人は、勤務中に試合がある時は病欠の電話を入れればよいと考えているからです。

藤木社長は、日本代表チームが感動的なパフォーマンスを見せた2002年ワールドカップ以降、サッカー人気が上がったことによって、日本での根強い勤労倫理が崩される可能性があるとして指摘しています。「アジア地域では、時差の関係で真夜中に試合中継がある場合が多いため、日本では突然病気になる人が増えるかもしれません！」と、藤木社長は予想しています。

注目ポイント

＞ ロナウジーニョは、今回調査が実施されたほとんどの国でワールドカップの MVP に最も近いと思われていますが、ウクライナの回答者はウクライナの至宝、シェフチェンコを指名しました。

＞ オーストラリアでは、回答者の 58% が、ワールドカップの「ダークホース」はオーストラリアだと思っているという結果が出ました。楽観的なのか、あるいは、ラグビーやクリケット、オージー・フットボールほどの人気がないからなのでしょう。

＞ 回答者全体の 69% が、サッカー選手の報酬は高すぎている（ブラジルでは 95%、ドイツでは 92%）。ブラジルでサッカー選手になりたいと思っている人が 43% にも上るのはこれが理由かも知れません。

シノベイトについて

シノベイトは、Aegis Group plc のマーケティング・リサーチ部門として、競争力のあるマーケティング・営業活動を支援するため、消費者インサイトを発信しています。シノベイトでは、5,500 名以上のスタッフが、世界 50 カ国に広がるネットワークを駆使し、顧客に必要なグローバルサポートと総合的なマーケティング・リサーチサービスを提供いたします。詳しい情報は、ホームページをご覧ください。www.synovate.com

シノベイト株式会社

担当者： 小川里枝

Tel : 03-5408-3853

E-mail: japan@synovate.com

www.synovate.com